

2016年度コミュニティスタディ(CS)【国内サービラーニング】プログラム一覧表

活動拠点	プログラムNo.	プログラム名	活動エリア(ターゲット)	実施時期	単位数	対象学年	対象者	募集人数	概要・目的	求める学生像	履修条件	曜日・時間/ゾーン
三木キャンパス	No.1	【サービラーニングA】 総合型地域スポーツクラブ指導支援	三木市 (NPO法人 三木スポーツクラブ(代表:立山雄一郎氏))	春学期	1単位	全学年	全学部 全学科	5名~12名	三木市内を拠点とする総合型地域スポーツクラブである三木スポーツクラブが主催するサッカースクール及びコーディネーション教室のサポート活動を行う。 この活動は、三木スポーツクラブの要望となっている『指導スタッフ不足解消』及び『スポーツ指導者を志す学生への現場体験の提供(地域貢献)』を基に行うものである。	現地実習では「関西国際大学学生」ではなく「三木スポーツクラブ指導スタッフ」として子ども達やその保護者と関わることになる為、現地実習初回から社会における基本的な作法(挨拶、指導中の立ち振る舞い等)が求められる。現場における指導方法はもちろんのこと、指導者として求められる要素を現地実習で理解し、その能力を高める為の努力を惜しまない学生の履修を求める。	本科目は地域貢献活動を通じて、スポーツ指導者としての素養を身につけることを目的としているため、各個人が意欲的な姿勢態度を有して参加することが絶対条件である。 エントリーシート提出後、事前面談により受講者を決定する。	木曜4限
	No.2	【サービラーニングA】 障害のある子どもの余暇活動支援	三木市 (スポーツクラブ21ひょうご三木東・三木西所属 障害者スポーツクラブ「はっぴい」・放課後等デイサービス「あひえっと」)	春学期	1単位	1・2年生	人間心理学 科	10名 (5名~15名)	毎月1回の障がいのある子どものスポーツ活動または放課後デイサービス活動に参加し、一人一人の参加児童に応じた支援を計画し実践する。各実践の反省をもとに、支援目標・内容を再考し実践する。最後に各実践をまとめて発表する。これらの活動を通して、障がいのある子どもが安全・安心で豊かな生活をおくために必要な地域環境作りに関する課題分析と改善策等の提案を行い、障がい児者にとってのよき隣人、よき地域人としての人権感覚を身につける。	様々な障がいのある子どもや大人の方に対して、同じ人間として真摯に向き合い、積極的に関わろうと努力する人を求めます。また、相手の視点、立場に立ち、そこに存在する困難な状況に寄り添うとともに、課題を客観的に分析してその改善策を考え、改善に向けて行動しようとする豊かな人間性と能動性のある人を求めます。	・活動日である日曜日又は平日の15時以降に活動に参加できる学生(相談をして活動日を決める) ・将来、教育・福祉に関わる進路を考えている学生。又は、障がいのある人への支援に興味・関心がある学生。	月曜3限
	No.3	【サービラーニングB】 ひとり暮らしの高齢者生活実態調査 -三木市緑が丘地区在住者を対象として-	三木市 (三木市(介護保険課)・緑が丘まちづくり協議会(10自治会)・緑が丘地区各自治会)	春~夏学期	2単位	2年生以上	人間科学部 保健医療学部	5名~15名	三木市の高齢化率は30%を超え、とりわけ緑が丘地区は約40%となっており、市内一高い比率を示している。郊外型戸建て団地である緑が丘において、高齢化を踏まえた地域再生が、行政にとっても、地域にとっても喫緊の課題となっている。そこで、緑が丘地区在住のひとり暮らし高齢者を対象に質問紙調査および訪問調査を行い、生活支援に関するニーズを明らかにし、そのうえで、地域再生のための方策を市及び地域に提案しようとするものである。	・新しく何かにチャレンジしたい、地域の役に立ちたい、活動を通じて、人々の笑顔が見たい、学生時代の貴重な体験にしたい。 ・長い人生の中で、学生時代の貴重な体験(喜びは苦労に比例します)を積みだたいと考えている学生	・真摯であること	(春学期) 火曜5限 (夏学期) ゾーン2
	No.4	【サービラーニングA】 高齢者を守る『振り込め詐欺』防止対策	三木市緑が丘町 (三木警察署・三木市防犯協会・緑が丘自治会)	夏学期	1単位	全学年	全学部 全学科	15名	社会問題となっている高齢者に対する振り込め詐欺等特殊詐欺の被害に遭わないようにする為に、犯罪被害者及び犯人の心理や犯罪実態等を解明し、その防止に向けた対策等を調査すると共に、高齢者に分かりやすい『振り込め詐欺防止寸劇』を制作・実演することで、被害防止の一翼を担おうとするものである。	確かに楽しそうなどなら続けやすそうだが、夢をかなえるために、将来のための知識・能力の基盤を鍛えるためにも、あらゆる学修に取り組み意欲のある学生を求めます。何故なら、激動の社会で生き抜くためには、失敗・挫折を恐れず、恥をかき、笑われることを沢山経験し人生の受け身を身につけてほしい。そして、タフな人間となり、タフに生きること、それが最高の親孝行になるんだ。	継続して学修することが求められるため、真にやむを得ない事情がある場合以外は欠席しないことが条件である。	ゾーン1
	No.5	【サービラーニングA】 三木市の地域資源活用提案プロジェクト	三木市 (NPO Good Times、三木市)	夏学期	1単位	1年生	人間科学部 経営学科	最大40名	1. 三木市の地域資源を活用し地域を活性化するために、「よきもの、わかもの、はかもの」の目でフレッシュなアイデアを提案する。 2. フィールドワークを通して、チームワーク作りを学ぶ。	自分たちが住んでいたり、関係している地域を活性化するために、ないものねだりをするのではなく、すでにあるものを再発見して活用することができ、多様なステークホルダーを巻き込んで、仲間とチームで力を合わせて課題解決に取り組める学生を求めます。	特になし	ゾーン2
	No.6	【サービラーニングA】 神鍋高原を活性化するプログラム	豊岡市 神鍋観光協会、豊岡市、豊岡市商工会、神鍋高原ホテル、ブルーリッジホテル、神鍋白炭工房等	夏学期	1単位	3年生	人間科学部 経営学科	最大20名	スキー場で有名な神鍋高原であるが、長らくスキー人口が減少し、観光客の入込数が低迷してきた。現地では、活性化策を立てて実行中であるが、若者によるソーシャルビジネスでの起業や着地型観光の事業者が出てきている。地域創生が国家戦略の中で、自分事として地域活性化を考える。経営学科3年生としてフレッシュなアイデアにとどまらず、収集した情報を分析し、ステイクホルダーの利害関係も考慮した実現可能な提案を行う。	大学で学んだ経営学の知識とスキルを活かして、地域や組織の持つ課題を発見し、自分たちで収集した情報やビッグデータを活用して分析し、プロジェクトプランを立てることが出来る学生を求めます。	特になし	ゾーン2
	No.7	【サービラーニングB】 三木市内の住民の生活実態調査	三木市 (三木市人権推進課)	夏学期	2単位	2年生以上	全学部 全学科	10名 (6~16名)	三木市内内の住民にインタビュー調査を行い、実情を把握した上で住民の生活上の課題やニーズを整理し、よい生活、生活の質の向上のために必要な施策等について検討する。本科目で実施した調査は、三木市の調査活動の一環として行われるもので、調査結果は、策定される計画書の資料の一部となる。	責任感を持って物事に真摯に取り組む姿勢のあること、また、物事をよく理解し、問題発見能力がある、または、発見しようという姿勢がある学生 さらには、人の心の痛みを想像できな思いやりがあり、他の人の話を耳を傾けて聞ける素養がある、またはそれを身につけることを強く希望している学生	「カウンセリング」を履修していることが望ましい。	ゾーン2
	No.8	【サービラーニングA】 総合型地域スポーツクラブ指導支援	三木市 (NPO法人 三木スポーツクラブ(代表:立山雄一郎氏))	秋学期	1単位	全学年	全学部 全学科	5名~12名	三木市内を拠点とする総合型地域スポーツクラブである三木スポーツクラブが主催するサッカースクール及びコーディネーション教室のサポート活動を行う。 この活動は、三木スポーツクラブの要望となっている『指導スタッフ不足解消』及び『スポーツ指導者を志す学生への現場体験の提供(地域貢献)』を基に行うものである。	現地実習では「関西国際大学学生」ではなく「三木スポーツクラブ指導スタッフ」として子ども達やその保護者と関わることになる為、現地実習初回から社会における基本的な作法(挨拶、指導中の立ち振る舞い等)が求められる。現場における指導方法はもちろんのこと、指導者として求められる要素を現地実習で理解し、その能力を高める為の努力を惜しまない学生の履修を求める。	本科目は地域貢献活動を通じて、スポーツ指導者としての素養を身につけることを目的としているため、各個人が意欲的な姿勢態度を有して参加することが絶対条件である。 エントリーシート提出後、事前面談により受講者を決定する。	木曜4限
	No.9	【サービラーニングA】 子どもと親を守る『虐待』防止対策	三木市 (三木市教育委員会・三木警察署)	冬学期	1単位	全学年	全学部 全学科	15名	テレビ・新聞で子供の悲惨な虐待死の現状が報道され、大きな社会問題となっている。この現状を踏まえ、虐待の実態を解明するとともに、その防止対策について調査・分析・検討等を行い、その結果を三木市教育委員会に提案し、最も弱い児童の命を守る諸活動に寄与しようとするものである。	確かに楽しそうなどなら続けやすそうだが、夢をかなえるために、将来のための知識・能力の基盤を鍛えるためにも、あらゆる学修に取り組み意欲のある学生を求めます。何故なら、激動の社会で生き抜くためには、失敗・挫折を恐れず、恥をかき、笑われることを沢山経験し人生の受け身を身につけてほしい。そして、タフな人間となり、タフに生きること、それが最高の親孝行になるんだ	継続して学修することが求められるため、真にやむを得ない事情がある場合以外は欠席しないことが条件である。	ゾーン1

2016年度コミュニティスタディ(CS)【国内サービラーニング】プログラム一覧表

活動拠点	プログラムNo.	プログラム名	活動エリア(ターゲット)	実施時期	単位数	対象学年	対象者	募集人数	概要・目的	求める学生像	履修条件	曜日・時限/ゾーン
尼崎キャンパス	No.10	【サービラーニングA】 小学生に対する学習支援	尼崎市 (尼崎市内の小学校児童・小学校教員)	通年	1単位	1年生	教育福祉学科	最大定員 20名	尼崎市内小学校において、小学生に対して学習支援を行う。具体的には、教員の補助として授業に入り込み、学習の遅れた児童や特別な支援を必要とする児童に対して理解が促進されるような支援を行う。(例:注意の喚起、個別学習時の助言、学習用具の準備操作の補助、教育環境の整備、など)	将来小学校の教員として教育現場で活躍するために、以下の資質能力を身に着けようとする主体的に学習に取り組む学生。 1.教職に対する強い情熱 教師の仕事に対する使命感や誇り、子どもに対する愛情や責任感など 2.教育の専門家としての確かな力量 子ども理解力、児童・生徒指導力、集団指導の力、学級づくりの力、学習指導・授業づくりの力、教材理解の力など 3.総合的な人間力 豊かな人間性や社会性、常識と教養、礼儀作法をはじめ対人関係能力、コミュニケーション能力などの人格的資質、教職員全体と同僚として協力していくこと	特になし	(春学期) 月曜2限 (秋学期) 月曜3限
	No.11	【サービラーニングA】 障害者施設とのコラボレーション商品開発プロジェクト	尼崎市 (一般社団法人福祉心話会)	夏学期	1単位	1年生	全学部 全学科	20名	尼崎市にある障害者施設を定期的に訪問し、施設職員や利用者との交流を行い、施設の強みと学生の発想を合わせたコラボレーション商品の開発に携わる。最終的には、当該施設とのコラボレーションイベントを実施し、商品の販売を行う。	本活動では、地域生活を送るうえで何らかの問題を抱える人(障害のある人)との関わりが中心となります。そのため、社会福祉従事者として、そのような人に関心をもち、多様性を理解することができると求める。また、市民として同じ地域に暮らす他者のために自ら考え積極的に行動できることを期待します。	・「社会福祉基礎」の受講が望ましい。 ・福祉学専攻学生に限らず、施設運営等に関心のある学生も履修可能です。	8月～9月
	No.12	【教育サービラーニングI】 地域の学習支援	尼崎市 (NPO法人シンフォニー、尼崎市立園田東小学校)	通年	2単位	1年生	英語教育学科	50名	小・中学生の学習活動を支援する。各所で主として放課後・土曜日に行われている学習支援事業に参加し、小学生または中学生の課題や学習を、話し相手を務めながら手助けする。	教授スキルは問わないが、支援する相手と一緒に考えようとする姿勢を持っていること、また、異なる世代ともコミュニケーションを取ろうとする意欲があること。特に実際の支援活動時に、予定日・時間を守るのは重要なので、そのような最低限度の社会的常識を身につけており、それに則って振る舞えること。	1年生春学期のため、特になし。事前授業(火曜1限)に出席して真摯に取り組むことができること	火曜1限
	No.13	【教育サービラーニングII】 地域外国人への日本語支援	尼崎市 (地域の日本語教室)	春学期・ 秋学期	2単位	2年生以上	英語教育学科	10名程度	普段何気なく使っている日本語を外国語として捉え、それを外国の人たちに教えることを学び、地域の日本語教室や大学の日本語支援の必要な学生に対する支援活動を通して実践を行う。日本語について、そのしくみや教え方について意識するだけでなく、日本語を実際に教えることを通して、様々な社会的・文化的背景を持って日本で暮らしている人たちについて理解を深める。	日本国内の定住外国人が地域社会の中で孤立することなく生活していくために必要な日本語能力を習得し、多文化共生社会の基礎づくりに貢献したいと考える学生の参加を求める。外国語として日本語を教えることに関心があり、地域の日本語学習者で日本語支援をするだけでなく、「ランゲージ・パートナー」としての交流を通して彼らの異文化や言語背景にも興味をもって理解しようとする共感的態度で接することができる学生を求めている。	・参加時点で下記ベンチマークを達成していること。 規範遵守(レベル2)社会のマナーや集団でのルールの背景や意義を理解した上で、守ることができる。 ・「日本語の構造」「日本語の構造II」など、日本語教師養成プログラムの授業を履修しているのが望ましい。	(春学期) 火曜1限 (秋学期) 時間割設定なし
	No.14	【教育サービラーニングI】 地域観光振興	奈良県葛城市 (葛城市商工観光課)	春学期・ 秋学期	2単位	2年生以上	英語教育学科	10名程度	奈良県葛城市は、葛城山、二上山麓に所在し、京都・大阪方面からのアクセスもよく、古代寺院の面影を伝える當麻寺、相撲発祥の地など、観光資源はあるものの、訪れる国内外のry後者数は伸び悩んでいる。現地に入り、葛城市と連携しながら、新たな観光振興策についての課題と問題点を解決する。	このプログラムにおいては、インバウンド対応が未対応に近い地域に入り、将来の外国人観光客誘致を見据え、地域社会と協働しながら、観光振興に提言し活動できる、とくに、今後の外国人観光客増にそなえ、ハード、ソフトの両面から予想しうる問題点を指摘でき、解決策を提示できる人材となることを求める。	英語教育学科生	火曜1限